



一覧表

CUTE10-UCN24 Joint Workshop on Alliance for Urban	
Climate Researchのご案内	778
シンポジウム「都市の熱環境の改善をめざして」	779

編集後記：科学技術基本計画ができて国は今後5年間に17兆ものお金を投資するという。もちろん、国がどの程度科学技術が重要と思ったかは問題ではなく、国の将来に科学技術の発展が不可欠と悟ったからなのであろう。従来、「科学技術に金を出さなかったのに、何で今更」とか、「本当の学問は清貧のなかに育つ」と快く思わない人も多いことと思われるが、むしろ、着目すべきは、政治を担当している人の変わり身の速さであらう。「君子豹変す」とは孔子の言葉であるが、我々も時代の流れに乗って行く器用さを身につけるべきで

あろう。気象学会も、春季大会の方式を変えたり、電子情報の時代に対応する方策を搜したり、地球環境連合学会の組織化を提唱するなど激変する時代に対応すべく努力をしている。この努力が実り、21世紀を担う学会に名実ともになりたいものである。このためにも、学会員の積極的な参加が求められる。時代に乗りたくない人、乗れない人を輝かせるためにも、時代に乗る必要があるのである。

(住 明正)